

1999年2月18日発行

No. 5

下閉伊郡川井村大字川井2-187-1

☎0193-76-2111 (内線83)



企画展が開催されました。

企画展

「郷土の森林と樹木展」

～原色木と巧緻な継ぎ手～

北上山地に生きた私達の祖先が、森林と樹木を暮らしに巧みに活用した様子を、文化財的観点で捉え、樹木の特性や、伝統的な加工技術をテーマに開催しました。

《内容》

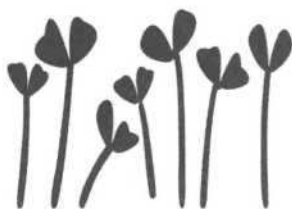
原色木（樹木の標本） 八十八種

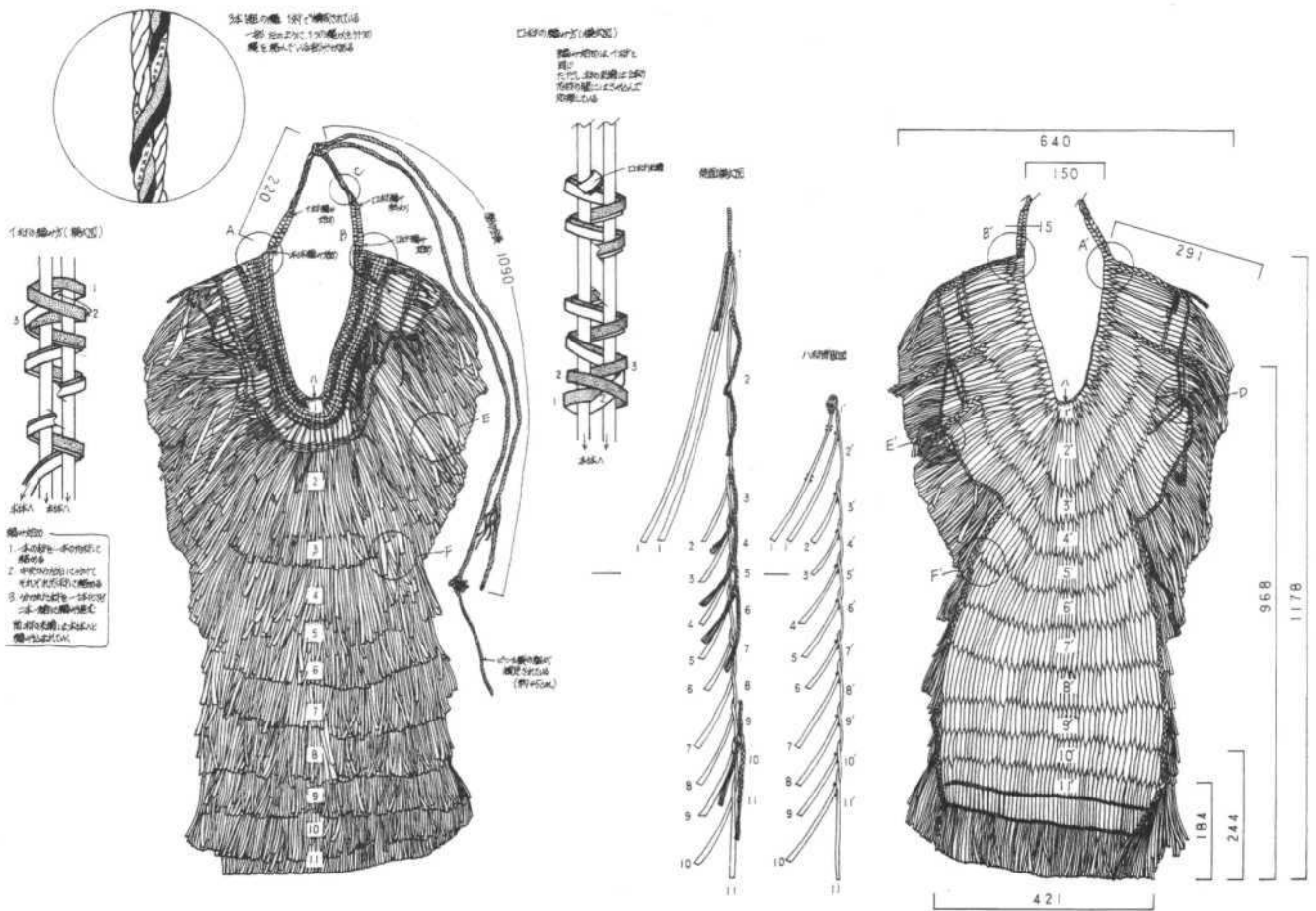
生活用具（樹木で造られた道具類） 五十九点

継ぎ手他（接ぎ手の模型） 二十四点

写真（樹種の生育状況等） 二十四点

企画展開催の際は、標本や用具等の提供や展示作業など、多くの方々のご協力をいただきました。大変ありがとうございました。





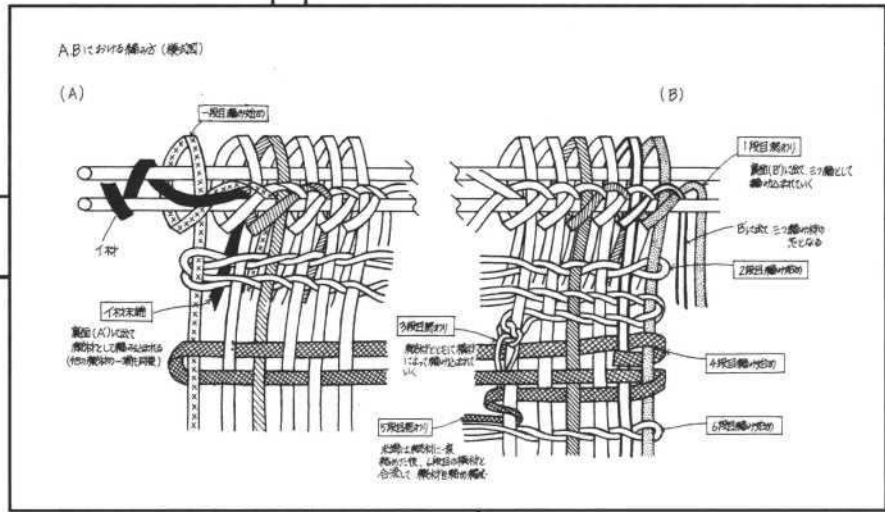
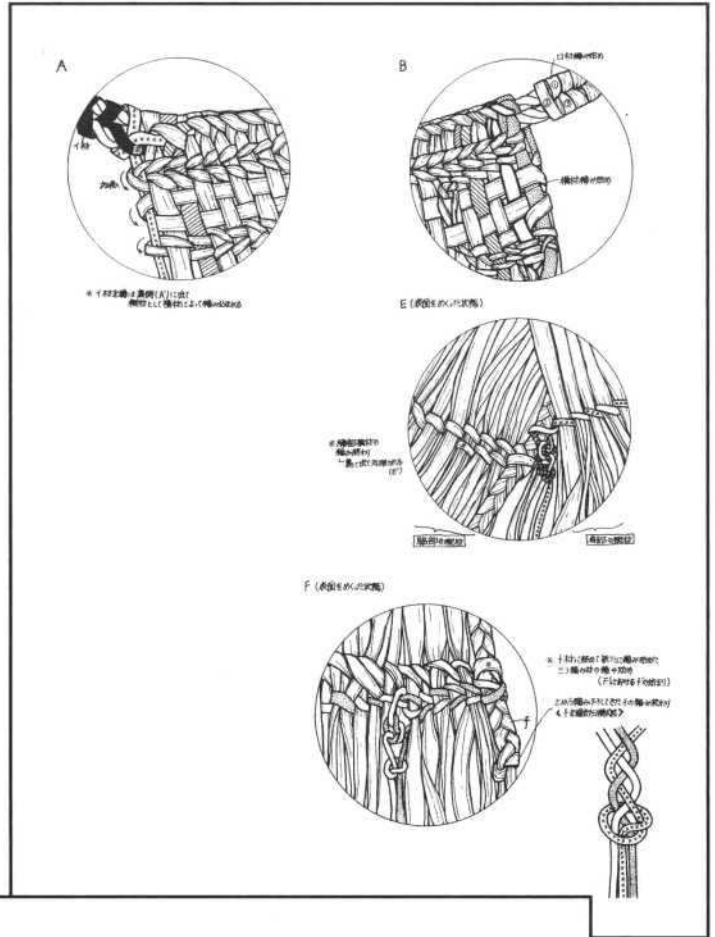
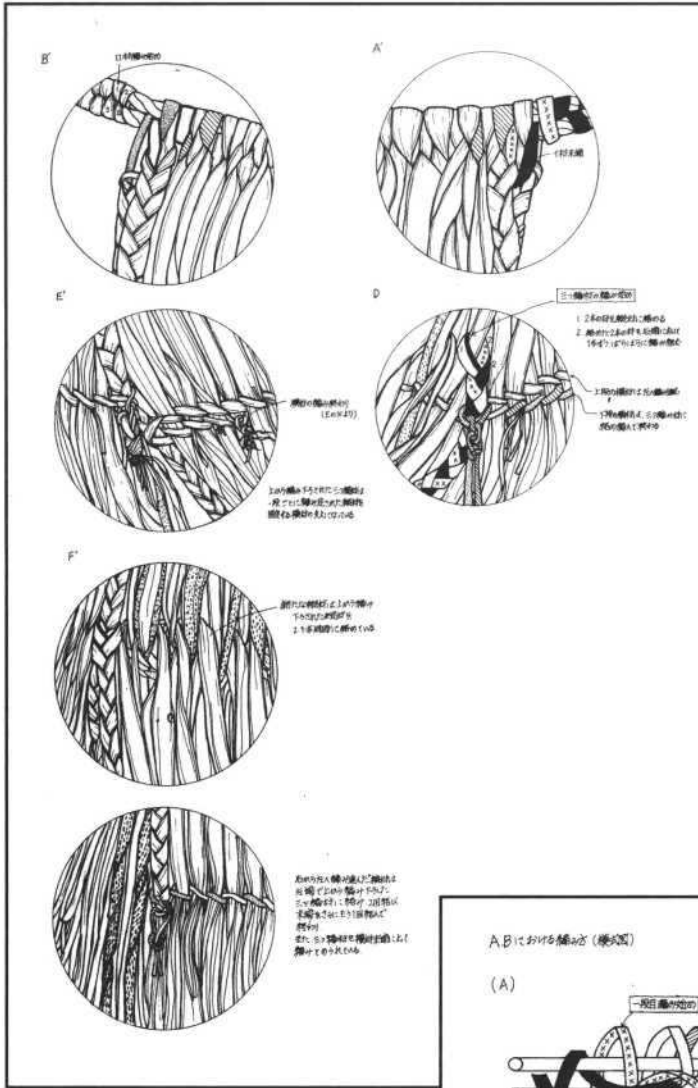
作図者
矢作 智恵子

この《みぬ》の作り手はすでに亡くなっており、今となつては御家族の方からも詳しい話しは聞けませんでした。

作り手のお孫さんであるシゲさんは「現在使われている雨ガッパに比べて、《みぬ》は通気性がよく蒸れないので、体によかったのではないかと話してくださいました。確かに農作業などで着用するゴム製の雨ガッパは、雨や雪で体が濡れるのを防ぎます。ところが通気性が悪いとカッパの内側は蒸れて、生じた水滴で逆に体を冷やすこととなります。それに比べて裂いたマダ皮を編んで作った《みぬ》は、編み目の隙間を空気が移動できるため、湿気を逃がす作りになっています。さらに、長く垂らしたマダ皮がふさふさと重なっている部分は空気を含むので、暖かさを保つこともできます。《みぬ》は通気性と保温性に優れた作りをしているのです。

作り手のご存命なら、この《みぬ》だけが持つエピソードがいろいろ聞けたに違いありません。しかし今回の聞き取り調査で、今は使われなくなった《みぬ》が雨具・防寒具として優れた構造をしているということがわかりました。これは、話してくださいましたシゲさんが雨ガッパを使っているからこそ聞くことができた情報だと思えます。

(岩手大学大学院生 安藤 稀環子)



資料名 みぬ (みの)

旧所有者 山崎丑秋

居住地区 箱石

製作地 自宅

制作者 山崎仙右衛門
(丑秋氏の妻の祖父、明治20～昭和34年)

材料 マダ

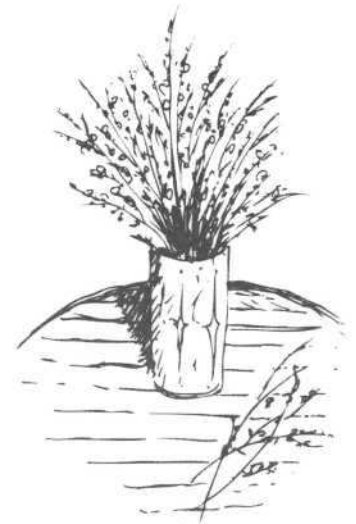
製作方法 農作業が始まる前の春先に男性が作った。

使用方法 雨具として、山仕事や農作業の際に男性が着用した。農作業の際は女性も着用した。

備考 山仕事に背負っていく「つかり」は鉈や弁当などを入れたため大変重かったが、「みぬ」を着ていると肩が痛くなかったそうだ。

対話者 山崎シゲ氏 (丑秋氏の妻)
山崎エン氏 (シゲ氏の母)

作図者 矢作智恵子



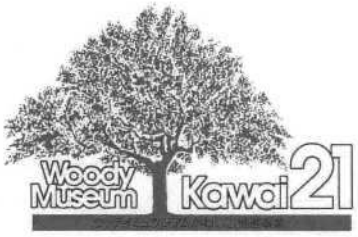
保存樹木説明板を3基設置しました。

◇設置の目的

川井村の豊かな自然環境の象徴として、村内に自生する各種の樹木を保存育成し、後世に残すとともに、この活動を通じて自然との共生意識を醸成し、美しく、住みやすい「自然美の故郷かわい」の実現に資することを目的としています。

◇設置箇所


保存樹木名	説明板設置箇所	備考
道又狼犬沢の水楢 大仁田かぐら堂の楢 鈴久名八幡神社の赤松群	道又邦夫氏所有地内 大仁田茂男氏所有地内 山本建夫氏所有地内	第7号 第8号 第9号



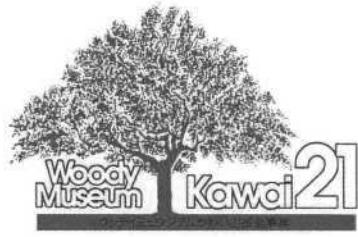
ウッディミュージアムかわい21推進事業
保存樹木第7号

狼穴沢の水楢

この水楢は平成10年(1998)の計測によれば、胸高周囲5m60cm、樹高はおよそ20mで樹齢は500年ぐらいと推定されています。山の神様の御神木として信仰され、保存されてきたもので、根元には山の神様の石碑が2基建っています。樹木の位置は、ここから東の方角へ自然の林地の中を2分ほど歩いた林の中です。




(平成10年8月建立 川井村教育委員会)



ウッディミュージアムかわい21推進事業
保存樹木第9号

鈴久名八幡神社の赤松群

この樹木群は八幡神社の御神木として大切に守られてきたもので、胸高周囲3m85cmの主木を中心に、3m47cm、3m20cm、3m5cm、2m53cm、の5本の赤松群が神域を取り囲んでいます。この八幡神社は由緒のある神社で、遠野妙泉寺（現在の遠野早池峰神社）の法印有盛が元禄5年(1692)に奇進した鱒口があります。樹木群は後の参道を3分ぐらい登った岡の上にあります。



(平成10年8月建立 川井村教育委員会)



ウッディミュージアムかわい21推進事業
保存樹木第8号

大仁田かぐら堂の楢

この楢は平成10年(1998)の計測によれば、胸高周囲6m、樹高はおよそ28m、樹齢はおよそ450年ぐらいと推定されています。かぐら堂は地の神様を祀るお堂で、この木はその御神木として大切に保存されてきたもので、かつては躑躅峠を越えて遠野市へ行く大仁田街道の目印の木だったと思われます。ここから歩いて1分ぐらいです。(100m)

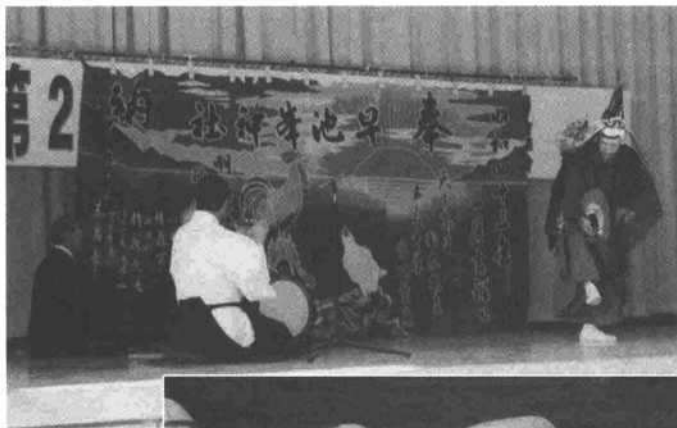


(平成10年8月建立 川井村教育委員会)



郷土芸能の伝承活動が盛んに行われました

各地で伝統文化の継承活動が行われていますが、川井村でも子供達や地域の人達が、それぞれ保存会の指導のもとで、一生懸命、郷土芸能の伝承活動に取り組んでいます。活動の成果は、地域の催しなどで披露するほか、各地で行われるイベントなどに参加してその成果を発表しています。今年、第28回川井村郷土芸能祭が久々に単独で開催され、13団体の郷土芸能が川井小学校に集結し、活動の成果を競い合いました。



「芸能まつり」などの参加状況（平成10年度）

- 5月14日 遠野さくら祭り 遠野市 箱石鹿踊
- 7月25日 青少年郷土芸能発表会 宮古市 箱石こうきりこ
- 8月2日 赤べこカーニバル 区 界 江繋神楽、箱石鹿踊
田代さんさ
- 8月8日 第36回北上みちのく芸能まつり 北上市 末角鹿踊
- 11月3日 第28回川井村郷土芸能祭 川井小体育館 末角神楽他13団体



第28回川井村郷土芸能祭プログラム

- ①末角神楽 ②川井八尺舞 ③川井甚句 ④川内鹿踊
- ⑤岡村剣舞 ⑥江繋御戸入 ⑦夏屋鹿踊 ⑧湯沢鹿踊
- ⑨箱石鹿踊 ⑩湯沢虎舞 ⑪田代念仏剣舞
- ⑫末角鹿踊 ⑬川井御戸入り

川井村郷土芸能祭のあゆみ



年号	月日	名目	会場	参加団体	備考
昭和38年	11月3日	第1回川井村郷土芸能祭	川井小	7	
昭和39年	11月3日	第2回川井村郷土芸能祭	箱石小	8	
昭和40年	8月20日	第3回川井村郷土芸能祭	川内小中	8	
昭和41年	8月20日	第4回川井村郷土芸能祭	小国小	12	
昭和42年	8月20日	第5回川井村郷土芸能祭	門馬小中	7	
昭和43年	8月17日	第6回川井村郷土芸能祭	江繋小	17	
昭和44年	8月16日	第7回川井村郷土芸能祭	川井小中	10	NHK中継所開所記念
昭和45年	8月17日	第8回川井村郷土芸能祭	箱石小	7	
昭和46年	8月20日	第9回川井村郷土芸能祭	小国小	9	
昭和47年	8月17日	第10回川井村郷土芸能祭	川井小	12	第6回宮古下閉伊地区郷土芸能祭
昭和48年	8月19日	第11回川井村郷土芸能祭	川内小	7	
昭和50年	8月20日	第12回川井村郷土芸能祭	門馬	7	
昭和52年	8月16日	第13回川井村郷土芸能祭	江繋	10	
昭和54年	8月16日	第14回川井村郷土芸能祭	小国	8	
昭和56年	8月16日	第15回川井村郷土芸能祭	箱石	9	
昭和58年	8月16日	第16回川井村郷土芸能祭	川内	12	
昭和60年	8月16日	第17回川井村郷土芸能祭	川井	9	
昭和62年	8月16日	第18回川井村郷土芸能祭	江繋	12	8/2短角ロード
平成元年	8月6日	第19回川井村郷土芸能祭	区界	13	短角ロード（郷土芸能）
平成2年	8月5日	第20回川井村郷土芸能祭	区界	8	短角ロード（郷土芸能）
平成3年	8月4日	第21回川井村郷土芸能祭	区界	5	短角ロード（郷土芸能）
平成4年	8月2日	第22回川井村郷土芸能祭	区界	4	短角ロード（郷土芸能）
平成5年	8月1日	第23回川井村郷土芸能祭	区界	5	短角ロード（郷土芸能）
平成6年	8月7日	第24回川井村郷土芸能祭	区界	2(6)	短角ロード（郷土芸能）
平成7年	8月6日	第25回川井村郷土芸能祭	区界	5	短角ロード（郷土芸能）
平成8年	8月4日	第26回川井村郷土芸能祭	区界	3	赤べこカーニバル（郷土芸能）
平成9年	8月3日	第27回川井村郷土芸能祭	区界	3	赤べこカーニバル（郷土芸能）
平成10年	11月3日	第28回川井村郷土芸能祭	川井小	13	第25回川井村民文化祭

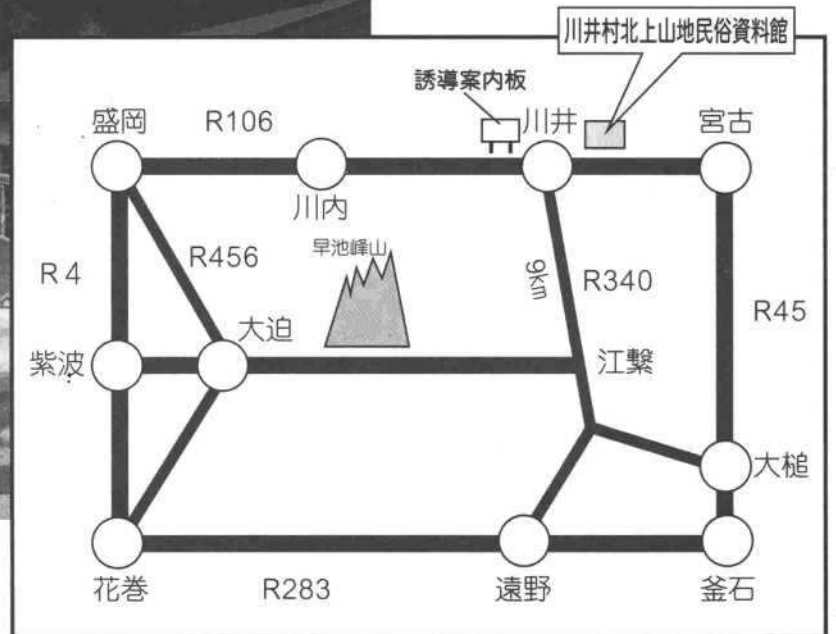
民俗資料聞き取り調査など

館務実習が行われました

博物館学を学んでいる岩手大学の館務実習が、今年度も資料館を中心に行われました。資料整理や、聞き取り調査が主な学習内容ですが、中国やロシアからの留学生も参加し、異文化の交じり合った学習となりました。また、地元青年との交流会を催し、活発な意見交換を行いました。



民俗資料館の誘導案内板を設置しました。



川井村北上山地 民俗資料館 入館者状況

	個人				団体				公用	合計	備考
	一般	学生	児童	免除	一般	学生	児童	免除			
6年度計	591	23	98	2,097	100	0	69	295	87	3,360	11月~3月
7年度計	1,970	55	265	75	1,257	0	34	269	130	4,055	
8年度計	1,188	23	230	60	791	30	12	144	0	2,478	
9年度計	769	19	91	10	582	0	0	477	34	1,982	
10年度計	634	36	62	236	578	0	67	198	11	1,822	1月現在